



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 17 令和3年6月 長野市



第
17
号

長野市公共施設等総合管理計画を改訂します

「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

を基本理念として平成29年3月に策定した、長野市公共施設等総合管理計画を改訂します。

改訂理由

- 国の策定指針が改訂されたことにより、新たな項目の追加が必要になったこと
- 令和3年2月に実施計画である「個別施設計画」を策定したことによる見直しが必要になったこと など



改訂作業は、市議会や審議会から意見を伺いながら進め、今年度中に改訂する予定です。本年末までに計画案についてのパブリックコメントを行い、市民の皆様のご意見も反映した計画としてまいります。

長野市公共施設等総合管理計画 とは？

目的

現状と課題やマネジメントの基本的な考え方に基づき、本市が所有する公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進のための、中長期的な方向性を定める

対象範囲

本市の保有する全ての公共施設（インフラ施設を含む）の建物及び土地（上下水道局の施設は、公営企業としての独立性を保持し、本計画の基本的な考え方を共有して相互に連携を図る）

計画期間

平成29年度から令和8年度までの10年間

本編及び概要版は、市のホームページに掲載しています。



長野市公共施設等総合管理計画

将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく

公共施設マネジメントの基本理念



平成29年3月
長野市

現時点で予定する主な改訂内容

- ① 国の指針改訂に伴う対応（追加するもの）
 - ・ 建築物や道路、上下水道等のインフラ施設も含めた中長期的な経費の見込み
 - ・ 個別施設計画に基づく対策効果を反映した「効果額」の試算結果
 - ・ ユニバーサルデザイン化の推進方針
- ② 長寿命化基本方針（対象施設・目標使用年数・改修周期）の検証
- ③ 時点修正 など

公共施設マネジメント～複合化施設完成～

「複合化」の手法により整備した2施設が完成し、供用開始となりました。公共施設マネジメントの取組は、廃止のイメージを持たれる方も多いかと思いますが、ただ施設を廃止するのではなく、「複合化」などの整備手法も積極的に取り入れ、施設の整備・運営の効率化、利用者サービスの向上などを目指してまいります。

朝陽小学校（屋内運動場）

供用開始：令和3年2月

令和3年1月29日、朝陽小学校の屋内運動場が竣工しました。

この施設は、耐震化が必要な屋内運動場の移転改築に合わせて、児童センターで実施していた放課後子ども総合プラン機能を集約することにより、2施設を複合化したものです。

【屋内運動場】 S46年12月建設
延床面積805㎡



【児童センター】 S51年3月建設
延床面積300㎡



集約・複合化

施設概要

施設名	朝陽小学校 屋内運動場
構造	鉄骨造2階建て
延床面積	屋内運動場1,150㎡ 多目的ホール棟866㎡
施設機能	屋内運動場 (放課後子ども総合プラン)

【屋内運動場】



【多目的ホール】



【建物外観】



中条総合市民センター

供用開始：令和3年4月

令和3年3月15日、中条総合市民センターが竣工しました。

この施設は、耐震化が必要な支所と、公民館・集会所・資料館の機能を集約することにより、4施設を複合化したものです。

【支所】 S47年1月建設
延床面積1,380㎡



【集会所】 S45年12月建設
延床面積550㎡



【公民館】 S54年12月建設
延床面積1,800㎡



【資料館】 S55年1月建設
延床面積420㎡



集約・複合化

【エントランスホール】



【建物外観】



施設概要

施設名	中条総合市民センター
構造	鉄筋コンクリート造2階建て
延床面積	2,285㎡
施設機能	支所、交流拠点、資料館

買取方式による災害公営住宅を建設中です！

令和元年東日本台風で被災し、自力で住まいの再建が困難な被災者の安定的な住居を確保するため、災害公営住宅「美濃和田団地」を整備しています。この災害公営住宅の整備にあたっては「買取方式」を前提としたプロポーザル※1により事業者の選定を行いました。美濃和田団地は令和3年11月に完成する予定です。

※1：価格ではなく、企画や提案内容で受注者を決定する入札方式

買取方式とは？

買取方式とは民間建設買取方式【通称BT方式：建設(Build)-移転(Transfer)】のことです。事業者の費用で建物の設計・施工を行い、完成後の建物を行政が買い取る方式です。今回の買取方式では、PFI※2法に基づかない官民連携手法として採用しています。

[右図①] ※2：下段「PPP/PFIってなあに？」参照

一般的な公共工事では公的資金により設計や施工をそれぞれの専門業者に段階的に発注する分離発注方式が一般的です。[右図②]

買取方式のメリットは？

▶ 民間ノウハウの活用

より効果的なコスト・工程管理につながる多様な工法選択など、民間事業者のノウハウを活用することができます。

▶ 資材調達の効率化

設計期間中に、あらかじめ選定された施工者が資材の手配や施工準備を行うことにより、工程の効率化を図ることができます。

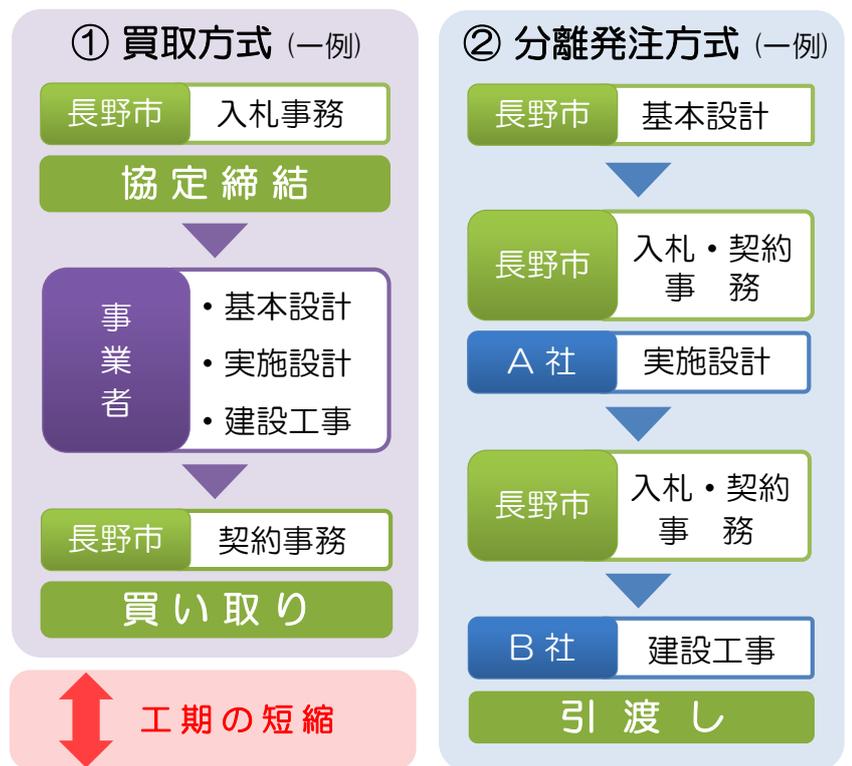
▶ 行政の事務軽減

入札手続きが設計・施工と合わせて1回で済み、手続きに要する期間の短縮と行政の事務軽減が可能になります。

➡ 短期間でのサービスの提供が可能に!!



※イメージ図



「PPP / PFI」ってなあに？(第1回 / 全4回)

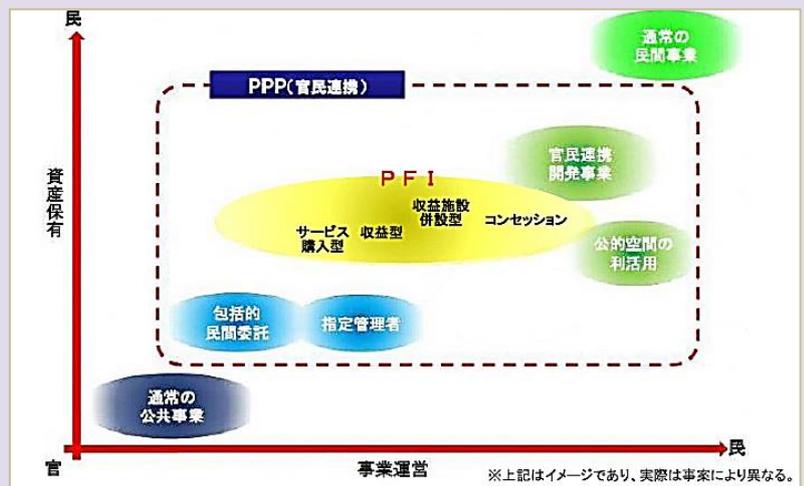
本市では、公共施設等の整備に当たり、市民サービスの向上と経費削減を図るため、従来型手法に優先してPPP/PFI手法を検討するための方針を定めています。そこで、皆様にご理解を深めていただけるよう、今回からPPP/PFIについて4回に分けて紹介します。第1回目は、「PPP」と「PFI」です。

PPPとは

Public Private Partnership (パブリック・プライベート・パートナーシップ) の略で、行政と民間が協力して公共サービスを効率的に運営する手法のことをいいます。官民パートナーシップ、官民連携とも呼ばれ、指定管理者制度や包括的民間委託も含まれます。

PFIとは

Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) の略で、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、民間主導で効率的かつ効果的に行う手法で、PFI法に基づき実施されます。PFIはPPPの一手法です。



皆さんと公共施設マネジメントを考える(若者編)

公共施設の課題は世代を超えた共通の問題です。公共施設マネジメントをご理解いただくための取組の1つである、将来世代の若者が公共施設マネジメントを「自分事として」考えていただくための取組を紹介します。

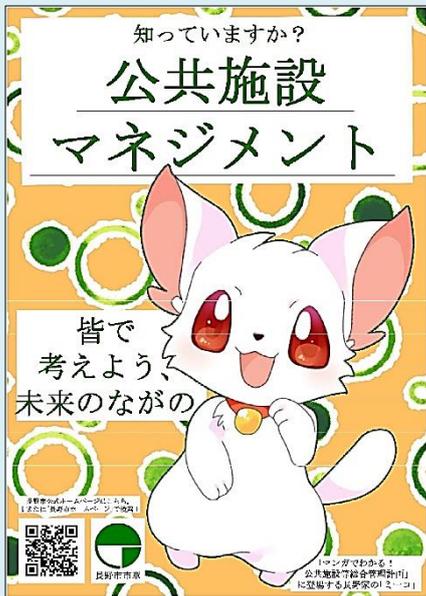
清泉女学院大学連携プロジェクト・学生に発表していただきました!!

清泉女学院大学との包括連携協定の連携事業として、これからは担う若者の立場で公共施設マネジメントを考える連携プロジェクト「ナガノ文系女子が公共施設をマネジメントしたら」を平成30年度から取り組んでいます。ここでは、ニュースレター第15号で掲載した「令和2年度プロジェクト」のその後について紹介します。

令和2年度のプロジェクトは、“公共施設マネジメントの「伝え方」”です！

新型コロナウイルスの影響で10月から大学1年生10名のメンバーでプロジェクトが始動しました。下の3つの取組テーマ毎にグループに分かれて検討し、その結果を令和3年3月12日に公共施設マネジメント推進課職員へ発表していただきました。

「公共施設マネジメント」を紙媒体で伝える取組



「公共施設マネジメント」を視覚(動画)で伝える取組



「公共施設の利用方法」を視覚(動画)で伝える取組



プロジェクトメンバーの皆さん、半年間ありがとうございました。今後の活躍を期待しています！

取組の様子は、市のホームページで紹介しています。



市立長野高等学校～大人のマイプロジェクトを聞こう～講師

令和3年3月18日に市立長野高等学校1年生の「大人のマイプロジェクトを聞こう」という授業の講師として、「長野市の公共施設マネジメント」についてお話ししてきました。

この授業は、11人の講師がそれぞれが取り組んでいるプロジェクトを語り、生徒たちは興味を持った講師を選択して聴講するというもので、2年生で取り組む探究活動のテーマ設定の材料探しを目的として開催されたものです。

授業を通じて「公共施設マネジメント」という言葉の背景には様々な課題が含まれていることに気づいてくれたことと思います。



◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、HPへ！
【長野市ホームページ>組織で探す>公共施設マネジメント推進課】

公共施設マネジメント推進に対する皆さまのご意見をお聞かせください。次号もお楽しみに！

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。

長野市 総務部 公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel : 026-224-7592 Fax : 026-224-7964
Email : koukyou@city.nagano.lg.jp

